



樽病だより

こころ

平成20年春号
通算9号
発行日
平成20年5月
市立小樽病院広報委員会
電話25-1211

新機能の導入で、診療を効率化

病院長 鈴木 隆

平成十八年一月に本紙創刊号を出して二年が過ぎました。季刊紙として発行してきたことから今回で九号になります。この期間、本紙を通して振り返ってみると短い期間ですが、その変わりようを感じます。医師が減って患者さまの待ち時間が長くなった、そのため外来予約制をとった、そうしたら初めてきた患者さま（新患）が予約の合間に入ることができず待たされる等々、さまざま問題が生じてきました。その都度、今の体制を大きく変えない範囲で解決してきたつもりであります。本来望ましい機能的な外来体制や病気になった方々の快適な療養環境を、今この建物で作る変えることはできません。もちろん新病院の完成を待っているわけです。

新病院でも継続して使え、新病院で戸惑わないために今から導入するものに「レントゲンのシステムを変えていく」というものがあります。現在、昔からあったあの白く明るいレントゲン写真の透視台が無くなりつつあります。聴診器と並んで病院の象徴でありました。これからは、マウスでクリックすると瞬時に写真がモニター（テレビ画面）に出てきます。大きなフィルムをレントゲン室から運んできた、大きな紙袋から探して取り出したりしなくてもよくなりました。わずかでも、このような時間節約の積み重ねを患者さまの満足につなげていくことができればと考えています。

それでも、午前中の外来診療は忙しくて患者さまをお待たせしてしまいます。今しばらくは現在の建物で診療を続けることとなりますが、このように新病院の機能を先取りしながら、良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりを持って提供するため、職員一同取り組んでまいります。

病院理念

良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く職員、医療人としての使命感を持ち協調して行動する病院

基本方針

- ・ 科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- ・ 医療の安全管理に最大の努力をほらいます。
- ・ 患者さまの満足度の向上に努めます。
- ・ 患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- ・ 市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- ・ 地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- ・ 医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- ・ 職種、診療科を超えたチーム医療に徹し病院の総合力発揮します。
- ・ 良質で安全な医療を提供するため経営健全化に努めます。

健康のはなし

漢方薬よもやまばなし

(内科医長 木曾田 理絵)

これから、四回のシリーズにわたり、漢方についてお話ししていきます。漢方薬というと「長く飲まないと効かないんでしょ」とよく聞かれます。まず、さわりをお話ししましょう。

漢方薬の使い方に『標治』と『本治』

『本治』という処方方法があります。標治は主に症状をとる目的で出され、本治はわかりやすくいうと、体質改善とでもいう使用方で、この本治の場合にはある程度継続して内服しなければならぬことが多いので、先ほどのような印象をもたれている方も多いのではないかと思えます。

一方、標治で使う場合には、うまく処方が出ると、一服で効果を期待できることもあります。風邪などは、漢方の得意とする範疇で



す。西洋薬のように強い解熱作用や鎮痛作用を期待する方には、効き目が弱いように感じられることがあるかもしれません。本来の人の持つ免疫力を高めたり、治癒作用を増強する効果は、一般的な西洋感冒薬には望めないのです。

一方、漢方薬は症状に合わせて処方を選ぶことができ、治癒を早める効果も期待できます。特に「風邪をひいたかな？」と思う段階では、一服の服用でもこじらせずに済むことも多いです。

漢方薬は味が悪い、ざらざらして飲みづらいという欠点もありますが、『良薬口に苦し』です。これを機に漢方薬を試してみるのはいかがでしょうか。

木曾田医師の外来診療は
火曜日、水曜日、金曜日です。

PACS(画像保存装置)の導入

放射線科の機器で、PACS(画像保存装置)による管理が可能になりました。
この事によって患者さまに説明する際も、フィルムとTVモニター両方での説明が可能で、病変部を拡大したり、大きさを測るスケールを入れたりでき、患者さまへの説明が分かり易くなると思えます。
また、今後は検査結果が医師の下に届く時間の短縮にもなり、患者さまの待ち時間の短縮にもなると考えられます。

外来診察室のシャウカステン(右:フィルムを見る透視台)とPACS用モニター(左)

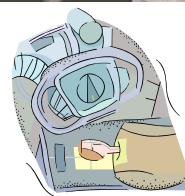


機器の更新

核医学検査装置、デジタルX線TV装置、超音波検査装置を更新しました。新年度から本格的に稼働をしています。技師全員が日夜、



↑デジタルX線TV装置



↓核医学検査装置



努力を重ね、最良のデータにより、患者さまの診療にきつとお役にたてると思っています。



↑超音波検査装置



医療相談室

(医療相談員 小池 萌)

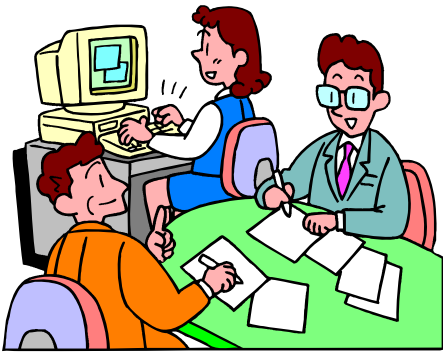
退院後の在宅生活を自分らしく

医療相談室とは入院した患者さまが治療を終えた後、安心して以後の生活を送っていただけるよう支援していくための相談窓口です。

長期にわたる入院生活では体力が段々と落ちていってしまいます。入院前にはできていた家事が退院時には、難しくなってしまうという例は少なくありません。病院に入院しなくてはいけないほどの身体状況ではなくても、自宅に一人で生活するのは困難な人やほんの少しの援助があれば可能な方も中にはいらっしゃると思います。そういった方の相談に乗りながら、介護保険などを使い、少しでも患者さまが退院後の在宅生活を不安なく自分らしくできるよう支援させていただきます。

安心して生活できる場所を

病院だより「こころ」
相談室のもう一つの役割として上げられるのが転院相談です。当院は急性期医療を行う病院であり、治療が終了しました患者さまは引き続き当院に入院することは



医療相談室のご利用は、医師・看護師または職員にお声をかけてください。

できません。しかし自宅に戻るに当たり、患者さまに行う医療が多い方に関しては、無理にご自宅に戻ってもらうのではなくご家族と医師・看護師を交え、ご本人にとってこれからどのような病院・施設があっているのか考えます。
ご本人ご家族の意思を尊重しながら、他の施設や医療機関とのパイプ役となり、患者さまが安心して生活できる場所を見つける役割もあります。
退院後について不安や解らない事などがありましたら、お気軽にお声を掛けてください。少しでも患者さまご家族さまの不安を除けるよう、お手伝いできればと思います。

救急患者処置室が変わりました。



2月25日から、「救急患者処置室」は「神経内科・精神神経科外来室」と診察室が入れ替わり、1階外来に移動しました。
これにより、救急患者処置室へ救急車から直接入室が可能となりました。



←処置室内部 左奥が救急患者入り口

↓救急車の左手に見えるドアが救急患者入り口



聴力検査室が移動しました。

新しい聴力検査室が耳鼻科外来の場所から検査科心電図室前に移動しました。
患者さまには外来から検査室への移動が生じてご不便を掛けますが、より精度の高い検査



↑二階検査科心電図室向かい側

査ができるようになります。入り口にはスロープを用意して、車イスのまま入室できます。また、新しい部屋は空調を設けて、室温上昇させないように改善しました。



↓聴力検査室の内部



4月からの新任医師

内科



出身大学 札幌医科大学
 卒業年 平成10年
 所属学会 日本内科学会
 (資格) 日本消化器病学会
 日本消化器内視鏡学会(専門医)
 日本膵臓学会

医師: 田中 道寛

眼科



出身大学 埼玉医科大学
 卒業年 平成9年
 所属学会 日本眼科学会
 (資格)

医長: 小原 裕一郎

泌尿器科



出身大学 香川医科大学
 卒業年 平成6年
 所属学会 日本泌尿器科学会(専門医・指導医)
 (資格) 日本透析医学会

医長: 駒木 亨

麻酔科



出身大学 札幌医科大学
 卒業年 平成10年
 所属学会 日本麻酔科学会(専門医)
 (資格) 日本集中治療医学会(専門医)
 日本救急医学会
 日本ペインクリニック学会
 アメリカ神経科学会

医師: 杉野 繁一



出身大学 北海道大学
 卒業年 平成10年
 所属学会 日本泌尿器科学会(専門医)
 (資格) 日本透析医学会

医師: 豊田 裕



出身大学 札幌医科大学
 卒業年 平成16年
 所属学会 日本麻酔科学会
 (資格)

医師: 樋口 美沙子



出身大学 北海道大学
 卒業年 平成18年
 所属学会 日本泌尿器科学会
 (資格)

医師: 今 雅史

皮膚科



出身大学 北海道大学
 卒業年 平成11年
 所属学会 日本皮膚科学会
 (資格) 日本研究皮膚科学会

医師: 立石 八寿貴

病棟再編により、3月から病棟が一部変わりました。

3-2病棟が内科(消化器)、4-2病棟が(外科・眼科・婦人科)、4-3病棟が(泌尿器科・皮膚科)、5-2病棟が(整形外科・耳鼻科・内科)、6-2病棟が内科(呼吸器)となり、5-1病棟は休棟になりました。

| | A棟 | B棟 | C棟 | D棟 | E棟 |
|----|-----------------------------------|---|-----------------------------|--------------------------|----------------|
| RF | 機械室 | 談話室(喫茶) | 機械室 | 機械室 | 機械室 |
| 6F | 講堂 | 6-3病棟(オープン) 病室 650~662号 | 6-2病棟(内) 病室 620~632号 | 6-2病棟(結核) 病室 601~613号 | |
| 5F | 病院新築準備室 | 研修室・栄養管理係 糖尿病教室・中央点滴室 | 5-2病棟(整・耳・内) 病室 520~531号 | | |
| 4F | 図書室 | 4-3病棟(泌・皮) 病室 450~460号 特別室 | 4-2病棟(外・眼・婦) 病室 420~432号 | 理学療法室 | |
| 3F | 会議室 | 地域連携室・医療相談室 内視鏡室 | 3-2病棟(内) 病室 320~334号 | | |
| 2F | 外来診察室 小・婦・泌・皮・耳・眼 | 検査科(心電図)・聴力検査室 CT室・MRI室・視力検査室 | 中央手術室 中央材料室 | 麻酔科外来 ICU・結石破壊療法室 | 水治浴室 ハートバンク |
| 1F | 外来診察室・中央採血室 内(処置室)・外・整・神 海側 | 理容室・放射線科・総合案内 売店・食堂・ATM・受付・薬局 予約受付 玄関 製剤室 | 給食炊事室 事務室 書庫 | 電気室・労務室 | 液体酸素室 山側 |



平成20年春号
通算9号



ホームページ <http://www.med-otaru.jp/>
ホームページから過去の広報紙がご覧になれます。

発行 市立小樽病院
編集 市立小樽病院広報委員会